

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。
出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ—A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ—B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ—A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ—B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ—C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ—D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ—E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ—F・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ—G・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ—H・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ—I・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ—J・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ—K・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ—L・問題Ⅳ
社会学研究指導	野上 元	問題Ⅲ—M・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ—A」・「Ⅲ—A」など）を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「6枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導 1)

「地理的な見方・考え方」について考えるところを述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導 2)

記憶論 (memory studies) の発展が歴史教育ないし政治教育に与えた影響を、具体的な例を挙げて論じなさい。

問題Ⅱ 社会科教育研究指導の志願者は、次の a～g から 1 問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 歴史学研究において取り扱う文献史料・非文献資料のそれぞれの特質について論じなさい。

Ⅱ-b (東洋史) 中央ユーラシアの遊牧騎馬民族が定住民世界に与えた影響について、具体的な事例をあげながら論述しなさい。

Ⅱ-c (西洋史) 共和制ないし共和主義とはなにか。歴史上の具体例に即して、その歴史的意義を説明しなさい。

Ⅱ-d (地理) 「地理院地図」の特色や他の地図との比較について述べなさい。

Ⅱ-e (政治学) 日本における直接民主制の現状と課題について論じなさい。

Ⅱ-f (経済学) 公共財の最適な供給量の決定について私的財と比較しながら論じなさい。

Ⅱ-g (社会学) 「社会関係資本 social capital」という概念を経済的資本、文化資本との対比において説明し、現代社会を考えるうえでこの概念がもつ意義を具体的な事例をあげて論述しなさい。

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 〔社会科教育専攻〕

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、A～Mの中から教員別に指定された問題を選んで答えなさい。

Ⅲ—A (歴史学研究指導 日本史 1)

以下の史料を読み、下記の問いに答えなさい。

廿五日丁亥、天晴、未明法皇出御法住寺殿、不知何方逐電令密幸給之由、有風聞之説、或信或不信周章之間、及辰刻聞定説、而聞南方有火、奇尋之處、六波羅辺前内相府已下人々家々脱力

云々、奇驚之間、同院御之由・彼人々奉具主上、御乗車南轅赴海西、事之殊勝可謂未曾有、大原辻并河合辺守護武士左馬頭行盛已下引返了、洛中騒動之外無他事、後聞、法皇去夜被遣御書於前内府許云、若及火急者、何様可令存知御乎、臨期定令周章歟、可被申其子細、其御返事云、無左右可逃退海西之由、内々有支度之旨、世以推之、又銘叡慮歟、又北面者之中、祇候彼辺之輩等、令伺形勢云々、行幸成之間、儉以出御、(中略)行幸事雖不聞説、風聞云、院密幸之由、及辰時前内府聞之、差左中将清経、行幸早可成之由被申、殿下令宿侍直廬給、公卿已下諸司不可候、可何様乎之由、有御返答、不及是非、可為御車之由、重被申之、殿下忽昇給、主上御乗車、御乳母二人、并按察局、御乳人一人、遠江、劍璽等御同車、事次第筆墨難及歟、平大納言時忠、忽自里亭参上、内侍所取御鏡許、并玄上鈴鹿御笛筥、御椅子時簡等令取之、一身奉行之、職事等雖宿近辺皆以逃去、殿下同令扈從給、即遷御六波羅泉亭、建礼門院・八條殿等、駕別車連轡、一族人々周章馳出、

- (1) 全文をすべて平仮名で読み下しなさい。
- (2) 全文を現代日本語に翻訳しなさい。
- (3) この記事がどのような歴史的事態を記したものをふまえ、記事中の「法皇」・「主上」・「殿下」・「前内府」がその事態の中でどのように行動したかについて、記事の内容をふまえて論じなさい。なお、その際、「法皇」・「主上」・「殿下」・「前内府」が誰であることを明示すること。

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 【社会科教育専攻】

Ⅲ-B (歴史学研究指導 日本史 2)

次の史料は、18 世紀後期までに成立していたと思われる実録物の冒頭部分である。
この記述を参考に、当該期の人々の秩序認識について論じなさい。

夫以聖君仁政の世に、邪侈凶悪あり、仏法流布の国に愚痴蒙昧あり、かゝる族ハ必悪魔外道の誑言にまどふ類哉、寛永年中高来・天草両島の衆民、邪法の悪党にたふらかされ、不儀の徒党を企、一揆を發し簞をあげ、正法に敵をなし、仏閣神社を焼失し、島原・富岡の両城に取かけ、恣をふるまい、原城に楯籠、日本の勢を引請、干戈をあらそふといへとも、忽天道の責を蒙り、利を鉄鉞の下に失ひ、屍を馬蹄にかけ焦土と成、嘲を末代に貽す、寔にあさましき次第にあらずや、人ハ只思慮あるにハしかしと云のみ

Ⅲ-C (歴史学研究指導 東洋史 1)

第一次満蒙独立運動について時代背景を述べた上で、モンゴル・日本それぞれの立場から本運動について論じなさい。

Ⅲ-D (歴史学研究指導 東洋史 2)

オスマン帝国における立憲運動におけるミドハト・パシャの役割について論じなさい。

Ⅲ-E (歴史学研究指導 西洋史 1)

中世ヨーロッパ都市の自治のあり方について、具体例に即して説明しなさい。

Ⅲ-F (歴史学研究指導 西洋史 2)

次の(1)～(5)から3つを選び、それぞれの項目について400字程度で述べなさい。
各解答の前に選んだ番号を書くこと。

- (1) クリミア戦争 (2) 大祖国戦争 (3) 感情史
(4) 歴史政策 (5) 共通歴史教科書

Ⅲ-G (地理学研究指導 自然地理)

以下の事項について、それぞれ説明しなさい。

- 1) 内作用と外作用のつくる地形
- 2) 楕状火山と成層火山
- 3) (三角州の) 前置層と底置層
- 4) ケスタとメサ
- 5) 関東大震災と阪神淡路大震災

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ－H（地理学研究指導 人文地理 1）

都市政策をめぐる「コンパクト・プラス・ネットワーク」という目標を、地域政策、都市政策という2つの側面からそれぞれ位置づけなさい。

Ⅲ－I（地理学研究指導 人文地理 2）

都市および農村におけるライフスタイル移住（lifestyle migration）について論じなさい。

Ⅲ－J（政治学研究指導）

職業の自由に関する日本の最高裁判例の近年の動向について説明し、論評しなさい。

Ⅲ－K（経済学研究指導）

企業の資本コストを計測する際の具体的な手順と背景となる理論について論じなさい。

Ⅲ－L（社会学研究指導 1）

以下の2つの問いから1つを選択し、既存の学説や具体的な事例に適宜言及しつつ解答しなさい。

(1) 「都市の社会学」の調査・分析において、量的データと質的データがもつそれぞれの意義と限界を述べた上で、具体的な研究においてこれらのデータをどのように組み合わせたらよいかを、任意の研究テーマや事象と関係づけて論述しなさい。

(2) 個々人が何らかの行為、あるいは一連の諸行為に際して意図したことと、その行為が自己及び他者や社会に対してもつ意味や機能はしばしば異なっている。そのような事例を1つあげて、それについて社会学的に考察しなさい。

Ⅲ－M（社会学研究指導 2）

「社会科学としての社会学」と「人文科学としての社会学」の両者を対比させつつ、「社会学」というディシプリンの特徴を説明しなさい。

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学の各研究指導の志願者は、次の a, b のうち 1 問を選んで答えなさい。

Ⅳ－a 社会科・地理歴史科教育における資料活用の重要性について考えるところを述べなさい。

Ⅳ－b 深い歴史の授業が、より高度な公民学習の実現に貢献しうることを、特定の歴史的事象を取り上げて説明しなさい。

▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること

▲ ここまで

▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること

▲ ここまで